

一年学年だより

No. 6 【9月号】

令和5年8月28日発行

海外留学のススメ ✨

2学期がスタートしましたね。夏休みにはオープンキャンパスに参加したり、海に行って夏を満喫したり、部活動に力を入れて真っ黒に日焼けしたりとそれぞれの夏を過ごしたことと思います。皆さんはこれからの2学期、3学期…2年生、3年生そして卒業後…とどのような生活を描いているでしょうか。今回の学年だよりでは、「留学」という選択肢も皆さんの人生設計の一部に考えてもらいたいと思い、「海外留学のススメ」というタイトルにしました。

私は、日本で4年制大学を卒業した後、カナダのトロントで2年間の大学院留学をしました。皆さんと同じ高校1年生のころは英語に興味もなければ、自分が留学することになるなんて想像もしていませんでした。

私の場合は、トロントへの留学経験のある友人のついでで、紹介してもらったカナダ人とシェアハウスで生活をしながら、大学附属の語学学校で2か月間の大学準備コースを修了するところから始まりました。情けない話ですが、カナダに到着してから約2か月間はホームシックにかかっていました。今思えば、自分で決めた留学なのにメソメソしていた時間があったいなかったと思います。ある日、ルームメイトに「あなたは自分がカナダにいるってことを自覚していないのよ！日本にいる自分でカナダにいるからホームシックから抜け出せないの！」と言われました。腑に落ちるところがありました。自分に自信がなく、自分の殻にこもったままの日本人の私をどうしても解き放たなければならないと気付かされた瞬間でした。カナダでの生活が一変し、人生が変わった気さえしました。

短時間の海外旅行ももちろんステキですが、でも、ホテル以外のところで実際に暮らし、現地人になって生活してみると見えるもの、できることも異なります。異文化社会でできることが増えると自己肯定感も高まり、帰国後のやるべきこともよりはっきりと見えてきます。また、興味深いことに、話す言語によって性格が変わるなあと思うことがあります。その興味深い経験を皆さんにも味わってほしいです。どのタイミングでもいいと思います。自分がやりたい分野でぜひ海外留学を！

留学するための英語力は本気になったらどうにかかります。何を話しているのかわからなかったり、通じなくて無視されたりするようなことも経験するかもしれませんが、一時的なことです。実際に使いたい表現は「アウトプットすることを前提とした」インプットを繰り返すことで身に付きます。インプットとは「覚える」作業、アウトプットとは「覚えたことを思い出す」「思い出した内容を外に出す」作業です。英単語などインプットしたつもりで終わりにしていませんか？自分も英語も外に出すことを意識してみませんか？

(104担任)

「本当の自分」はひとつじゃない

中央高校でみなさんが高校生活を始めて、なんともう5か月。早いですね。

国語で学習した『『本当の自分』幻想』を覚えていますか。

「自分」の姿は一つではなく、いろいろな場面で、いろいろな人とのかかわりの中で生まれるたくさんの自分の姿の、どれもが自分の本当の姿なのだということでした。みなさんは、中央高校のクラスや部活動の中で、新しい人とのかかわりがずいぶん増えたことと思います。すなわち、たった今も、たくさんの新しい自分を獲得しつつあるのでしょう。

楽しいことばかりではない。課題に追われたり、授業のスピードに理解が追いつかなかったり、部活動では上手な友達に圧倒されたりして、いやになってしまう。そこで気付いた自分の姿に、みなさんはどう対処するのでしょうか。

どれも大切な自分の本当の姿です。認めざるを得ない。でも、決してそれが自分の全部ではないということも、みなさんにはわかっていると思います。いろんな葛藤や、挑戦、それらを繰り返しながら、みなさんがより良き自分を獲得して行ってほしいと思っています。

(104副担任)